

東日本大震災から5年 今、私たちにできること

この間にも、豪雨や噴火など災害のニュースを耳にしながら、防災の意識が徐々に薄まっています。普段から防災や減災のためにできることを考えておくことが必要です。東日本大震災から5年、コープかがわで行っている取り組みをご紹介します。今、私たちにできることを一緒に考えましょう!

体験して考える

コープかがわLPA(ライフプラン・アドバイザー)の会 「防災ゲームクロスロード」

簡単なゲームで、災害を「我が事」として考えます。出された質問に対する答えをご自身でYESかNOかで考え、その後グループで意見交換をします。



教えてくれたのは

◀コープかがわLPA
森 弥生さん(左)
境 輝美さん(右)



「防災ゲームクロスロード」を体験してみよう

質問 大地震の後、津波避難警報が出ました。津波の危険がある自宅にいるあなたは、裏山への避難を考えています。しかし、海辺の友人宅へ遊びに行っている小学1年生の子どもが帰ってきていません。あなたは子どもを迎えに行きますか?

迎えに行くのが母としての使命!

YES or NO

頭では分かっているけど、いざとなったら迎えに行かずにいられない!

よく知っている友人宅だから、任せていても大丈夫!



森さん

このゲームは、出た意見は否定しないのがルールで「正解」はありません。同じYESでも理由はそれぞれ。少数意見も気付きにつながります。答えは一つではないことを知って、その人、その家での正解が話し合われば良いと思います。



境さん

普段から家族で話し合っていることが大切です。家にいた場合、外にいた場合、どうするか。例えば集合場所は学校と決めていても、その中で会えない可能性もあります。校庭のバスケットゴールの下など具体的に決めておきましょう。

<参加した組合員さんの感想>

- 自分だけでは気付かなかったことが、他の方の意見を聞いてなるほど!!と感じました。香川は安全とつい思いがちな、良くないことだと反省しました。
- 普段考えたこともなかった究極の選択をつきつけられ、すごく考えさせられました。災害に遭うことを想定し、家族できちんと話し合おうと思いました。
- 防災について、深く考えることができませんでした。家族と話をし、防災準備もしっかりしようと思いました。



各地域で開催した「防災クロスロードゲーム」の様子(上:綾川地区、下:川岡地区)

◎コープかがわLPAの会では、さまざまな学習会のメニューをご用意しております。詳しくは、お問い合わせください。

【フリーダイヤル 0120-4884-17(コープ太田内)】

気持ちを届ける

被災地の組合員さんに贈る “手作りカード”

東日本大震災で被災された岩手の組合員さんに、「忘れない、ずっと応援



しています」という想いを届けるため、ひなまつりやクリスマスに手作りカードをお贈りしています。



▲浅野・大野地区コープ委員会の皆さん。「ひなまつりカード」を作りました。

岩手の3月ってまだまだ寒いと思うけど、カードで春が届けられたらいいな。これからも応援していきます!

<いわて生協よりお礼のメッセージ>

昨年全国から3,566枚のクリスマスカードが届きました。内陸の組合員ボランティアさんにより、クッキーと一緒に袋詰が行われ、沿岸の共同購入センターを通じてお配りしました。「昨年ももらいました。今年ももらえるとはいなかったのが嬉しいです」などのお声を頂いております。



▲(右)現地のボランティアさんが、カードとクッキーをセットしてくださいます。

(左)配達の担当さんから組合員さんにカードが届けられます。

募金で応援

食べて応援募金

東北(岩手・宮城・福島)で生産・製造された対象商品のご利用1点につき1円が、被災地支援活動(お遍路コープ支援隊など)に活用されています。



このマークが目印!

2011年3月~2016年1月末までの累計
8,607,229点(1点1円)



◀対象商品一例(さんまといわしの蒲焼缶を使ったレンピを4面でご紹介しています。)

東日本くらし応援募金 (東日本大震災) 義援金含む

『福島の子ども保養プロジェクト』、及び被災地生協が取り組むボランティア活動の支援金として活用されています。

2011年3月~2016年1月末までの累計額
84,434,973円



皆様の温かいご支援、ご協力ありがとうございました。引き続きのご支援をお願い致します。

ご協力方法

- 共同購入・個配・PS……注文書にご記入ください。注文No1922(1口=100円)
- 店舗…募金箱を設置しています。